

2021年3月期

# IR説明会資料

株式会社 極 洋 (証券コード: 1301)

<https://www.kyokuyo.co.jp>



<https://www.seamarche.jp>

## 前中期経営計画『Change Kyokuyo 2021』の総括

- 前中期経営計画の振り返り 3～12ページ
- 最終年度（2021年3月期）決算の概要 13～17ページ
- 2021年3月期 事業セグメント別の状況 18～24ページ

## 新中期経営計画『Build Up Platform 2024』の概要

- 基本方針と目標値 26～27ページ
- 『Build Up Platform 2024』の事業戦略 28～30ページ

## 2022年3月期 施策及び業績予想

- 事業セグメント別の施策 32～33ページ
- 2022年3月期 業績予想 34～35ページ
- 2022年3月期 設備投資計画 36ページ

# 前中期経営計画 『Change Kyokuyo 2021』の総括

## ➤ 基本方針

魚を中心とした総合食品会社として、  
高収益構造への転換をはかり、資源、環境、労働などの  
社会的要請を踏まえ、事業のウイングの拡大と  
時間価値の提供により企業価値の向上を目指す

**ESG重視の事業活動**を通じて、食品事業、海外事業、事業領域の**拡大**、  
資源アクセスや商品開発、ブランド戦略の**強化**、事業構造および資本政  
策の**均衡**の各戦略を進めることで、より強固な事業経営に向けて、高収  
益構造へ大きく転換することを目指して取り組んでまいりました。

## ➤ 3カ年のトピックス

- 企業CMのテレビ放映開始【2018年7月】  
ブランド強化のため、創立以来初となる企業CMを制作。
- 宮城県の極洋食品(株)塩釜工場に事業所内保育施設を開園【2019年4月】  
従業員の育児と仕事の両立支援および、女性従業員が出産後も安心して働ける職場環境づくりを目的に、近隣で働く方々にもご利用いただける施設を開設。
- KYOKUYO GLOBAL SEAFOODS Co., Ltd. 設立【2019年4月】  
タイ国に煮魚・焼き魚および寿司種の製造を目的に設立。煮魚・焼き魚のシェア拡大を目指す。
- クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス(CLOMA)への参加  
【2019年4月】  
海洋プラスチックごみ問題解決のためのプラットフォーム参加。
- (株)イチヤママル長谷川水産が当社グループへ加入【2019年6月】  
北海道産魚介類の仕入ネットワーク及び加工技術力を活用し、食品事業の拡大及び資源アクセス強化を図る。

## □ (株)クロシオ水産が当社グループへ加入【2019年9月】

高知県宿毛湾にてマダイ、ブリ類、シマアジ等の養殖を行っており、調達力の多様化や安定供給の維持・拡大を目指す。

## □ 極洋水産(株)のマグロ加工の新工場が本格稼働開始【2020年4月】

寿司などの和食人気を背景に海外からの引き合いが高まっている、マグロ加工品の輸出拡大を図る。海外販売の拡大施策を推進。

## □ 極洋水産(株)新工場がEU HACCP取得【2020年11月】

4月に本格稼働を始めた新工場が、生食用冷凍マグロのロイン、ブロック、サクについてのEU HACCPを取得。

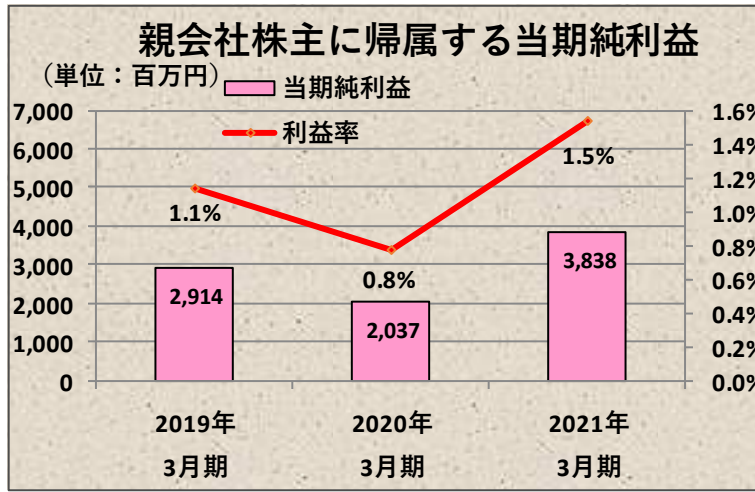
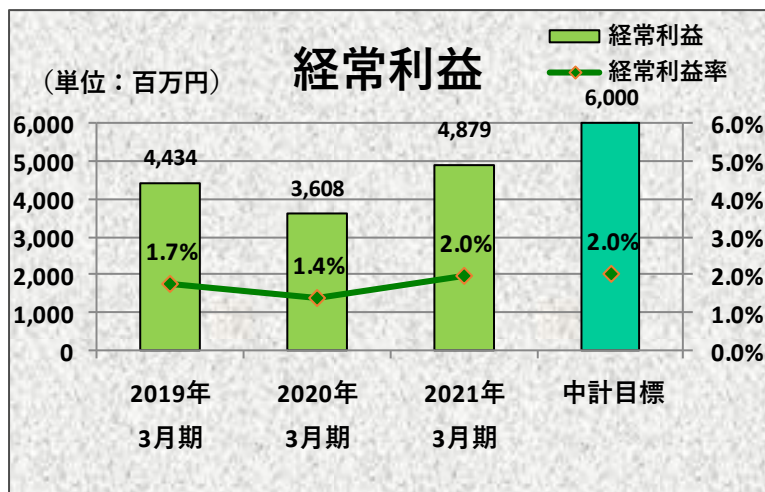
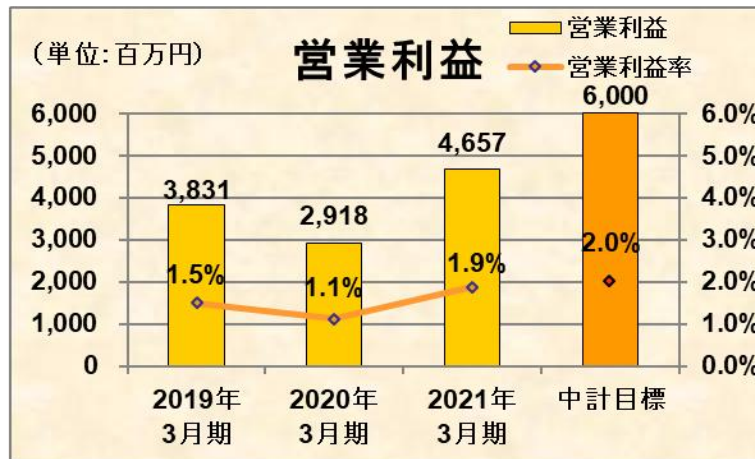
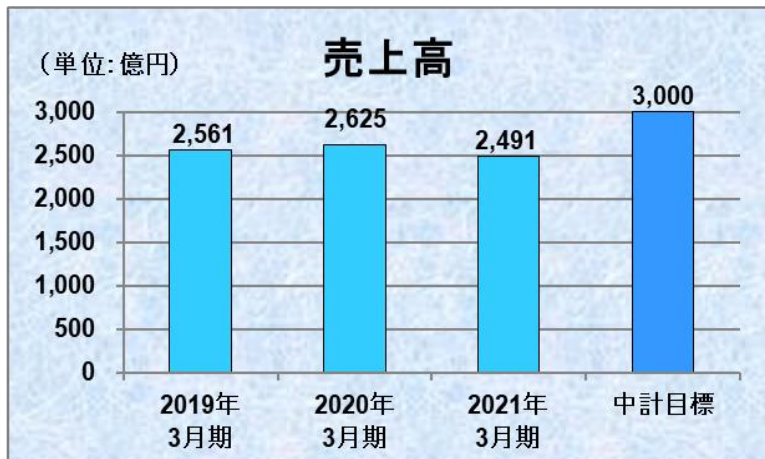
## □ キョクヨーグループ統合報告書発行【2020年11月】

持続的な成長と中長期的な企業価値向上を目指すキョクヨーグループの企業姿勢、戦略を総合的に報告するため発行。

## ➤ 目標値と実績推移

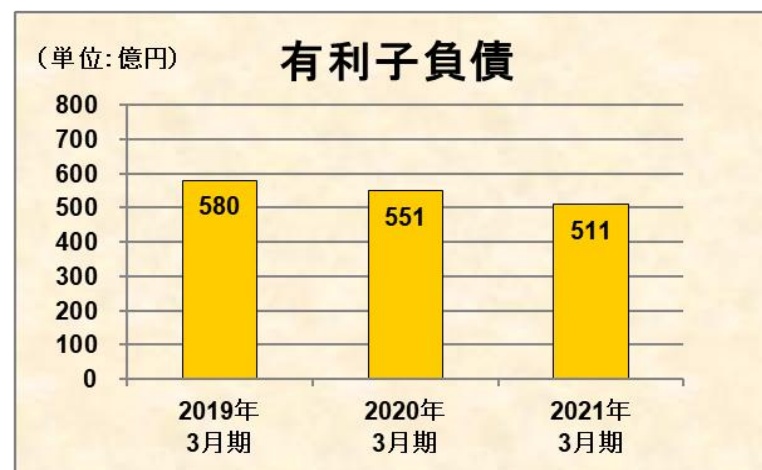
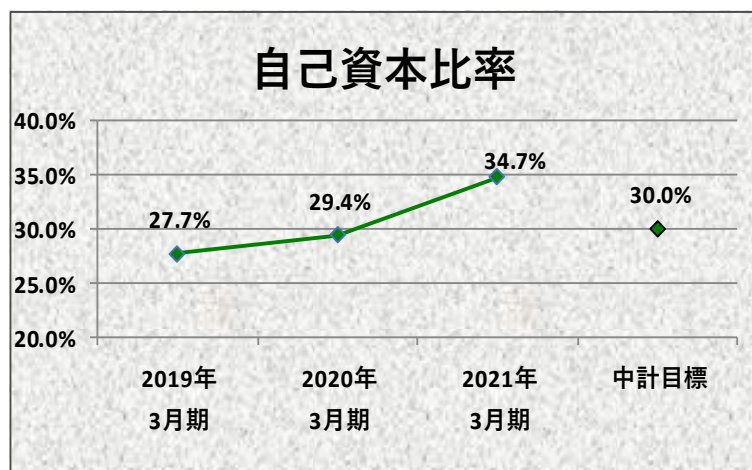
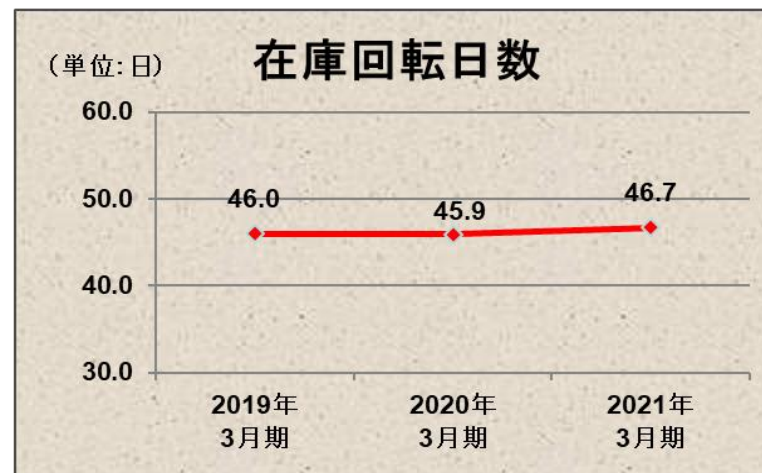
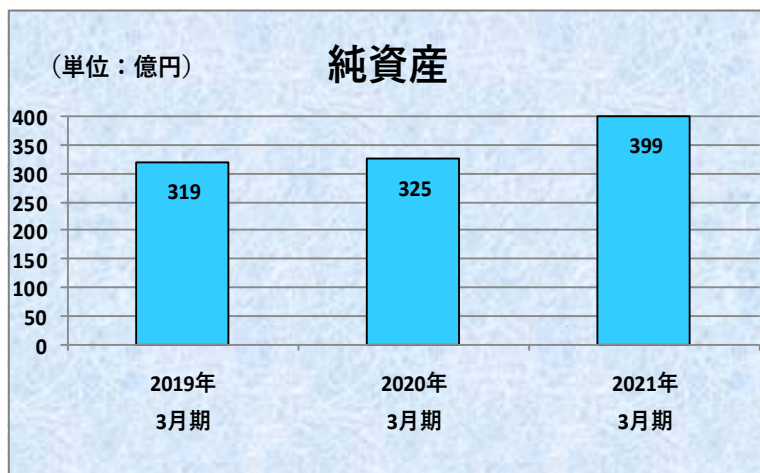
	目 標 値	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	目 標 比
売上高	3,000億円	2,561億円	2,625億円	2,491億円	△508億円
営業利益	60億円	38億円	29億円	46億円	△13億円
経常利益	60億円	44億円	36億円	48億円	△11億円
海外売上高比率	15%	10.2%	11.2%	9.1%	△5.9ポイント
自己資本利益率 (ROE)	10%	9.6%	6.3%	10.5%	+0.5ポイント
自己資本比率	30%	27.7%	29.4%	34.7%	+4.7ポイント
有利子負債資本倍率 (D/Eレシオ)	1.7倍以内	1.9倍	1.7倍	1.4倍	+0.3ポイント

## ➤ 連結業績の推移

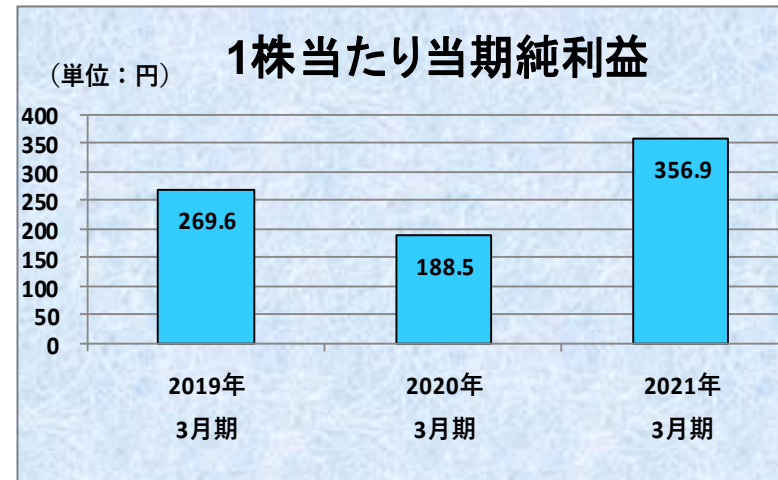
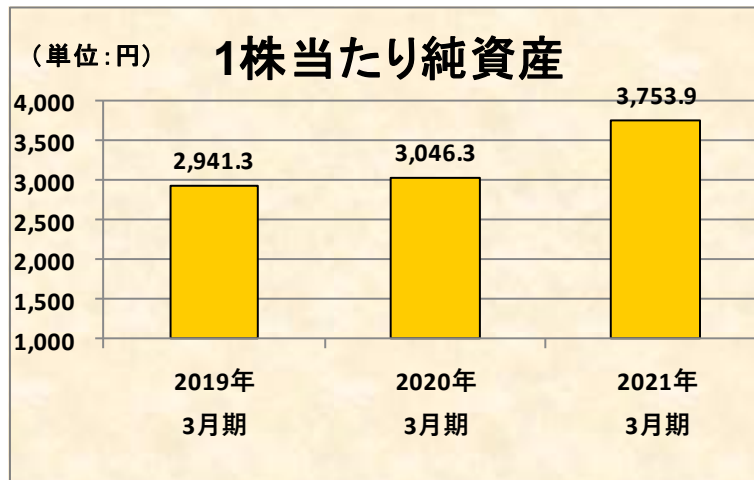
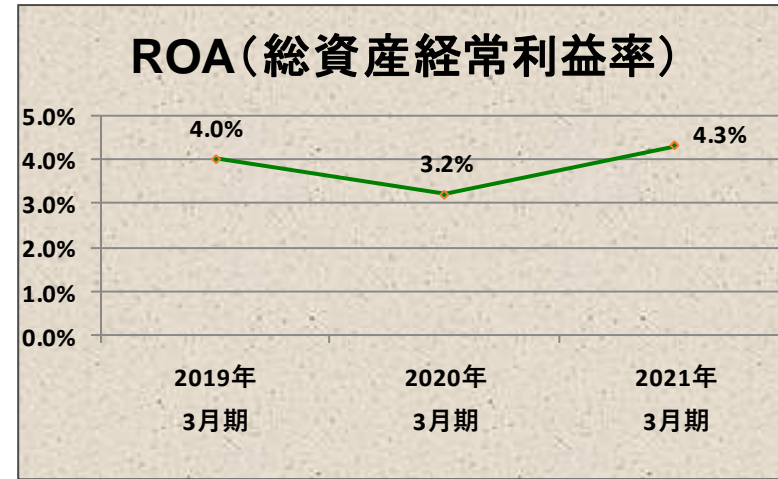
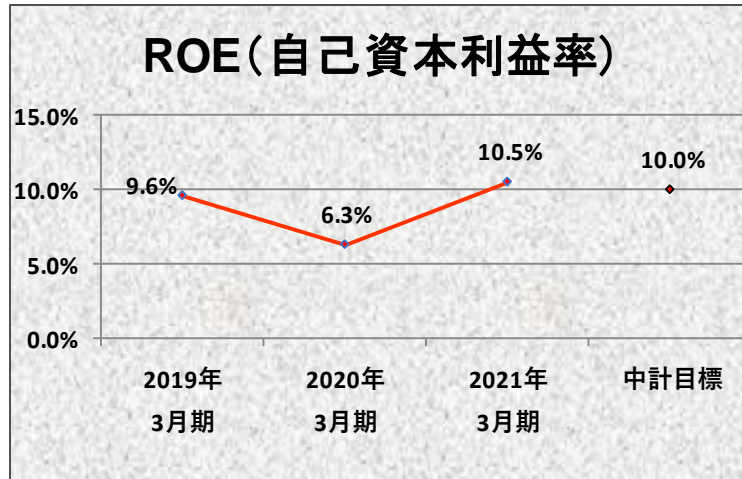




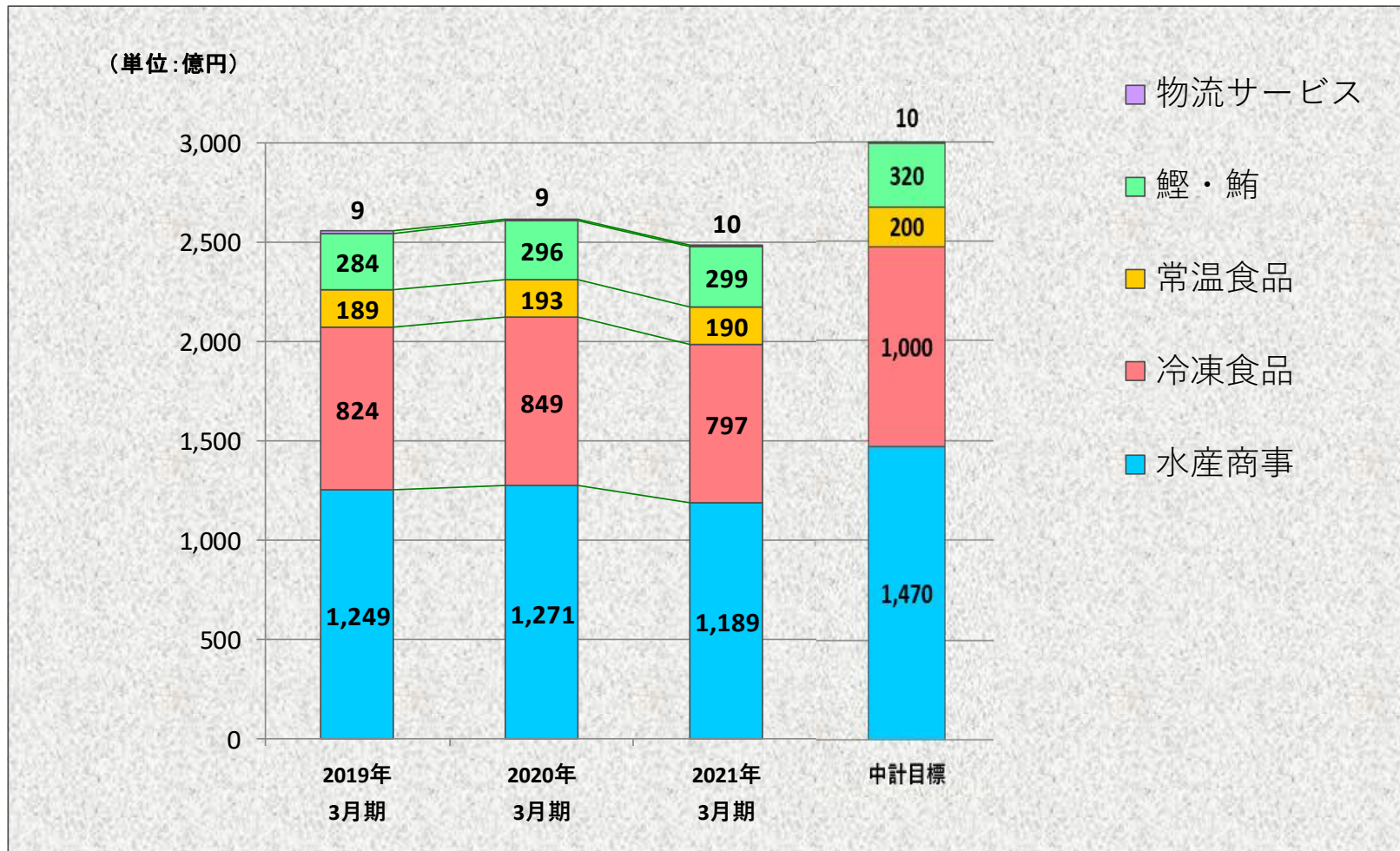
## ➤ 連結財務指標の推移



## ➤ 連結経営指標の推移



## ➤ 事業セグメント別売上高の推移



## ➤ 事業戦略の成果

### 【拡大】

- 販売が伸長する煮魚、焼き魚製品の生産拠点としてタイに子会社を設立

### 【強化】

- 水産加工会社、養殖事業会社をグループ会社化し資源アクセスを強化
- 健康志向、時短簡便など社会的ニーズを捉えた市販商品の市場投入
- テレビCM放映開始による企業ブランドの向上

### 【均衡】

- 自己資本比率やD/Eレシオ向上などによる財務体質の改善

## 【ESG重視の事業活動】

- SeaBOSやCLOMAなどイニシアチブへの参画
- 調達基本方針の策定およびサプライヤーガイドライン制定
- 宮城県塩釜市に近隣で働く方も利用可能な事業所内保育施設開園

## ➤ 連結損益計算書

(単位:百万円)

	実績		前期比		当初予想	当初予想比	
	連結会計年度		増減金額	増減比率	連結会計年度	増減金額	増減比率
	2020年3月期	2021年3月期			2021年3月期		
<b>売上高</b>	<b>262,519</b>	<b>249,197</b>	<b>△13,322</b>	<b>△5.1%</b>	<b>270,000</b>	<b>△20,803</b>	<b>△7.7%</b>
<b>営業利益</b>	<b>2,918</b>	<b>4,657</b>	<b>1,739</b>	<b>59.6%</b>	<b>4,200</b>	<b>457</b>	<b>10.9%</b>
営業外収益	1,208	735	△472	—	—	—	—
営業外費用	518	514	△4	—	—	—	—
<b>経常利益</b>	<b>3,608</b>	<b>4,879</b>	<b>1,271</b>	<b>35.2%</b>	<b>4,500</b>	<b>379</b>	<b>8.4%</b>
特別利益	68	1,676	1,608	—	—	—	—
特別損失	664	934	270	—	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>2,037</b>	<b>3,838</b>	<b>1,801</b>	<b>88.4%</b>	<b>3,000</b>	<b>838</b>	<b>27.9%</b>

- ・当初予想：2020年5月12日に発表した2021年3月期業績予想数値
- ・売上高：水産商事、冷凍食品、常温食品が減収となり、前期比133億円の減収
- ・営業利益：冷凍食品を除く全セグメントで増益、前期比17億円の増益
- ・親会社株主に帰属する当期純利益：投資有価証券売却益13億円計上などにより18億円の増益



## ➤ 個別損益計算書

(単位:百万円)

	実績		前期比	
	2020年3月期 (前期)	2021年3月期 (当期)	(増減金額)	(増減比率)
売上高	257,599	246,277	△11,321	△4.4%
営業利益	2,253	3,605	1,351	60.0%
経常利益	2,276	3,873	1,596	70.2%
当期純利益	1,119	3,652	2,533	226.4%

- ・売上高：水産商事、冷凍食品、常温食品の減収などにより、前期比113億円の減収
- ・営業利益：水産商事の収支改善などにより前期比13億円の増益

## ➤ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2020年 3月末	2021年 3月末	前期比		2020年 3月末	2021年 3月末	前期比
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
流動資産	85,251	86,649	1,397	流動負債	54,818	39,189	△15,629
受取手形及び売掛金	33,444	32,869	△574	内、短期借入金(含むCP)	35,594	18,056	△17,537
商品及び製品	31,409	32,150	740	固定負債	23,773	37,166	13,393
仕掛品	3,885	3,667	△218	内、長期借入金	19,124	32,720	13,596
原材料及び貯蔵品	5,749	5,942	193	負債合計	78,591	76,355	△2,236
その他	10,763	12,019	1,255	<b>純資産の部</b>			
固定資産	25,932	29,681	3,748	株主資本	32,396	35,300	2,903
有形固定資産	15,976	15,715	△260	その他の包括利益累計額	321	5,081	4,760
無形固定資産	541	417	△124	非支配株主持分	△125	△407	△281
投資その他の資産	9,414	13,547	4,133	純資産合計	32,593	39,975	7,382
資産合計	111,184	116,331	5,146	負債及び純資産合計	111,184	116,331	5,146



## ➤ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

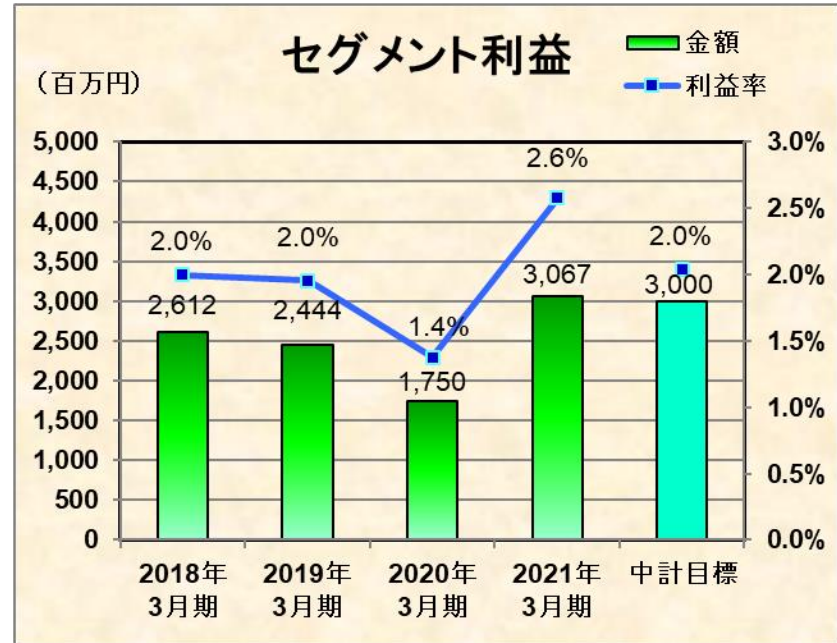
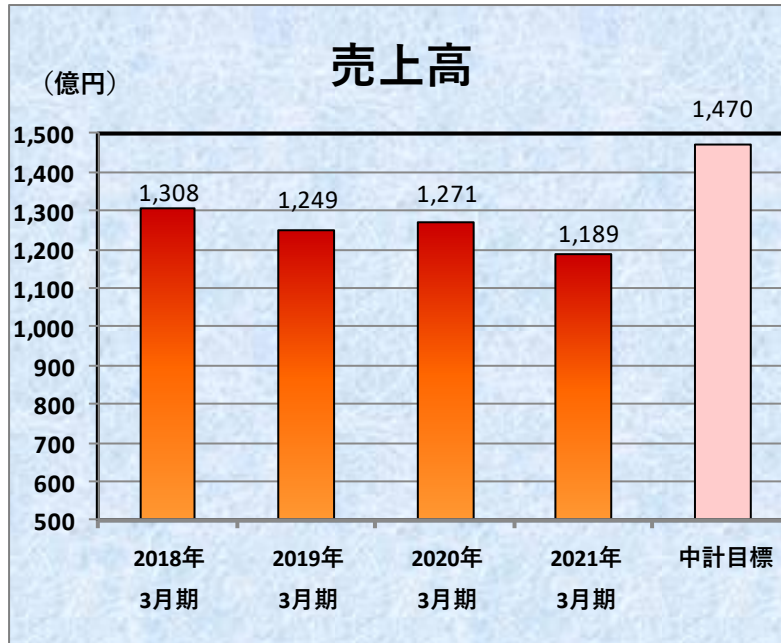
		連結会計年度		
		2020年3月期	2021年3月期	前期比
営業活動による キャッシュ・フロー	税金等調整前当期純利益	3,012	5,621	2,609
	減価償却費	1,904	1,941	36
	売上債権の増減(△は増加)	2,071	428	△1,642
	たな卸資産の増減(△は増加)	4,668	△802	△5,471
	仕入債務の増減(△は減少)	△1,401	975	2,376
	その他	△845	△2,167	△1,321
	<b>小計</b>	<b>9,410</b>	<b>5,997</b>	<b>△3,413</b>
投資活動による キャッシュ・フロー	固定資産の取得	△2,948	△2,395	552
	その他	17	1,868	1,851
	<b>小計</b>	<b>△2,931</b>	<b>△527</b>	<b>2,403</b>
財務活動による キャッシュ・フロー	短期借入金の増減(△は減少)	△5,682	△8,927	△3,244
	長期借入れの増減(△は減少)	2,016	5,283	3,266
	その他	△1,151	△982	168
	<b>小計</b>	<b>△4,817</b>	<b>△4,627</b>	<b>189</b>

## ➤ 事業セグメント別売上高及びセグメント利益<連結>

(単位:百万円)

	売上高			セグメント利益		
	連結会計年度		前期比	連結会計年度		前期比
	2020年3月期	2021年3月期		2020年3月期	2021年3月期	
水産商事	127,104	118,949	△8,155	1,750	3,067	1,316
冷凍食品	84,946	79,723	△5,222	949	849	△100
常温食品	19,370	19,083	△287	705	835	129
鰹・鮪	29,658	29,918	259	213	506	293
物流サービス	988	1,079	91	315	369	54
その他	452	443	△8	△1,015	△970	44
合計	262,519	249,197	△13,322	2,918	4,657	1,739

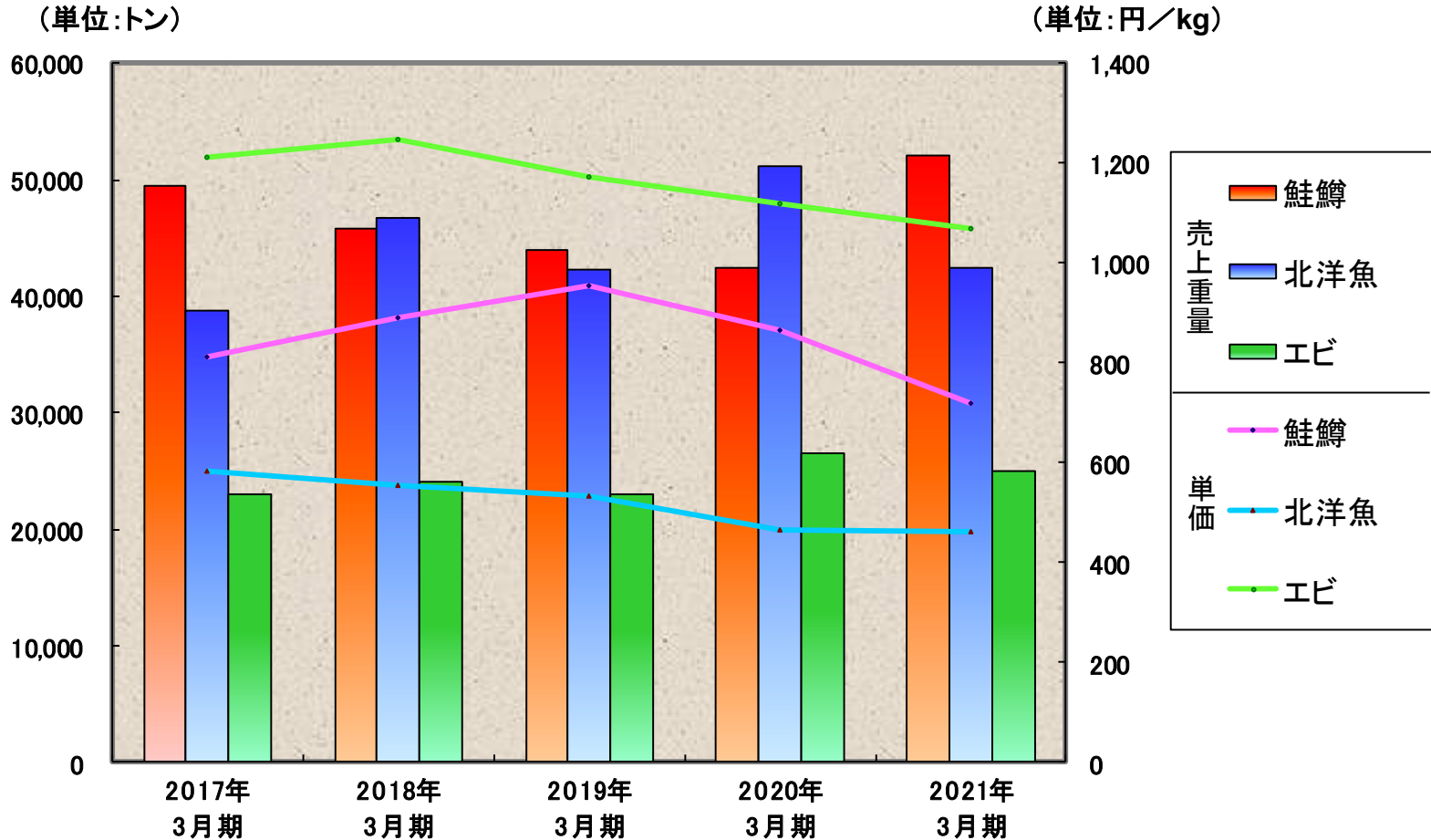
## ➤ 水産商事事業<連結>…水産物の買付及び販売



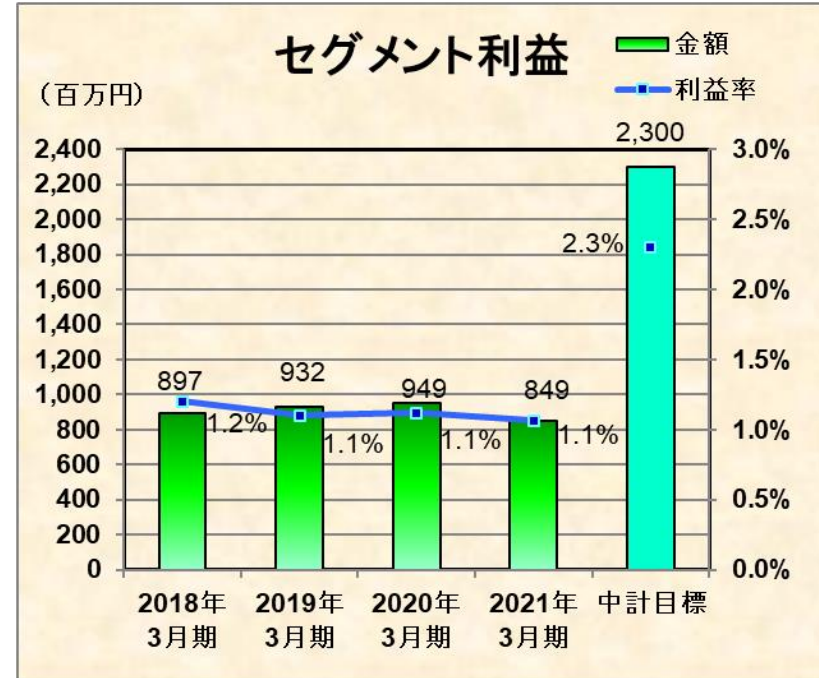
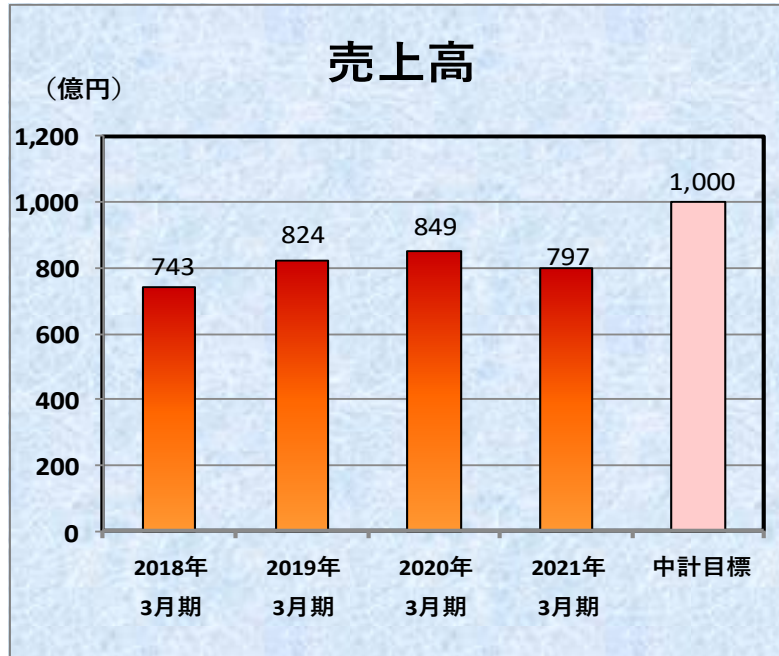
### 【当期の状況】

- 減収増益
  - 世界的コロナ感染拡大により、日本産水産物の輸出、海外現地法人の販売落ち込み
  - 国内は外出自粛の影響で、外食・業務筋の需要減少
  - 安値圏で推移した鮭・鱒の取扱い増加で、計画上回る利益確保
  - 年末商戦でカニ・エビなどの高額商材好調で利益改善

## 水産商事事業<個別>…魚種別売上重量・単価推移



## ➤ 冷凍食品事業<連結>…冷凍食品の加工及び販売

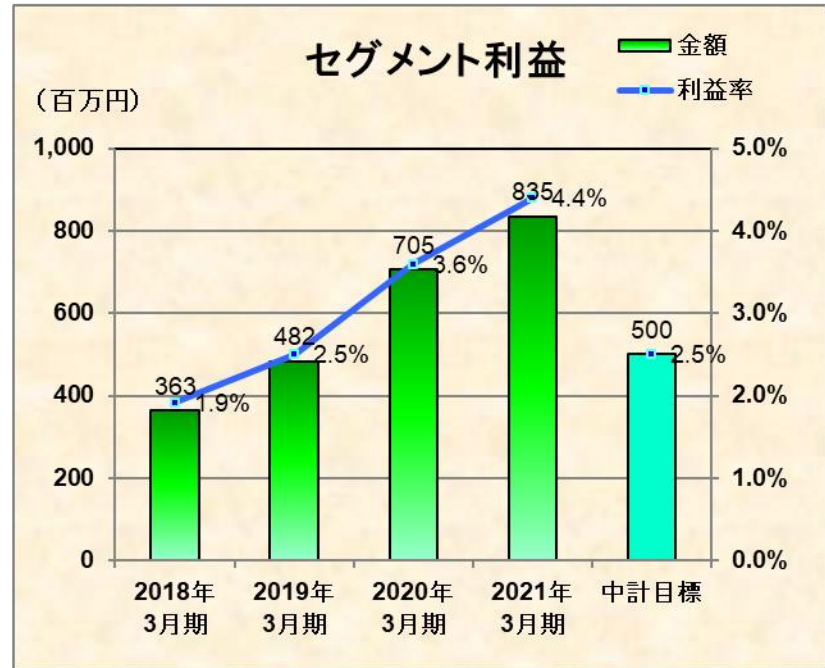
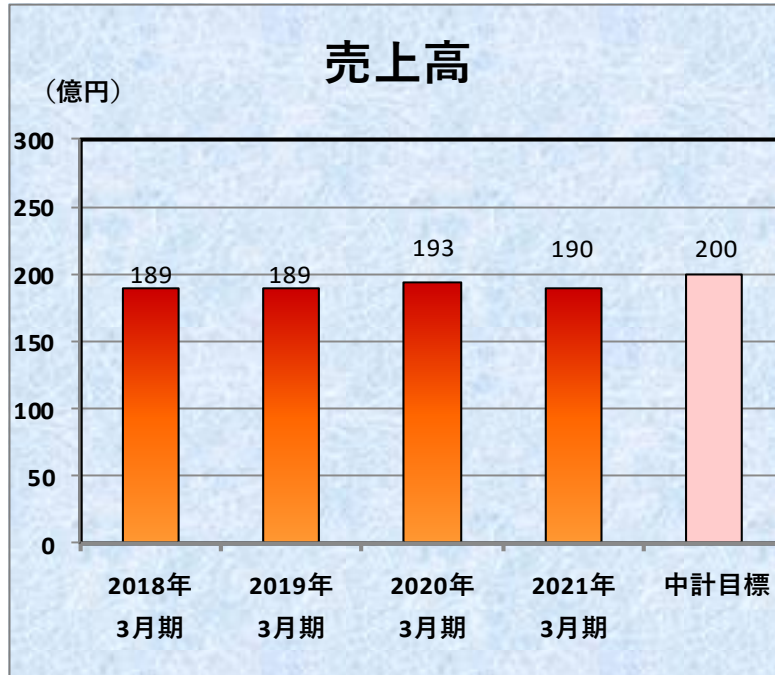


### 【当期の状況】

- 減収減益
  - 外食・業務筋向けの需要減少により、えびフリッター・水産フライの販売が低迷
  - 家庭用冷凍食品はドラッグストア向けなどが伸長
  - 寿司種、生食商材は徐々に回復も、全体としては前期比減をカバーするに至らず



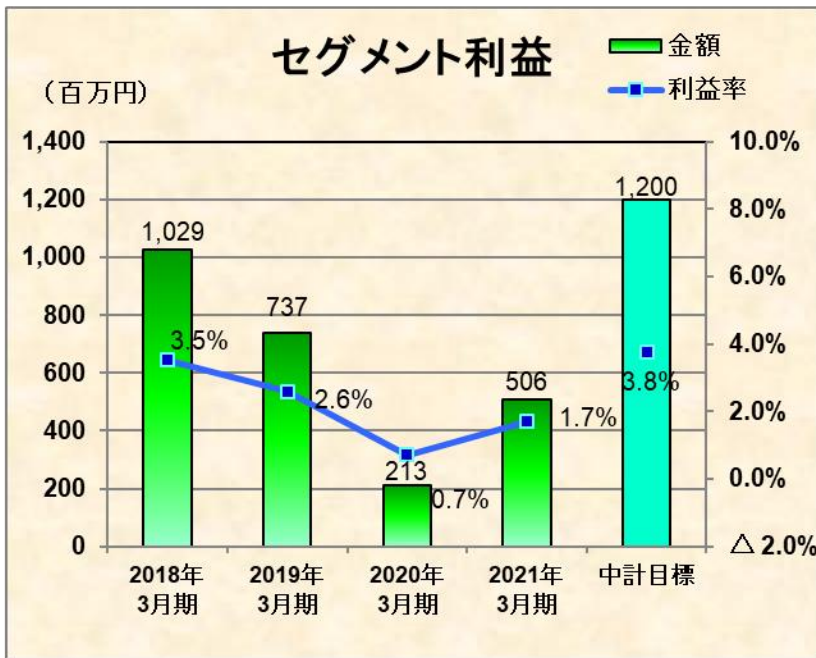
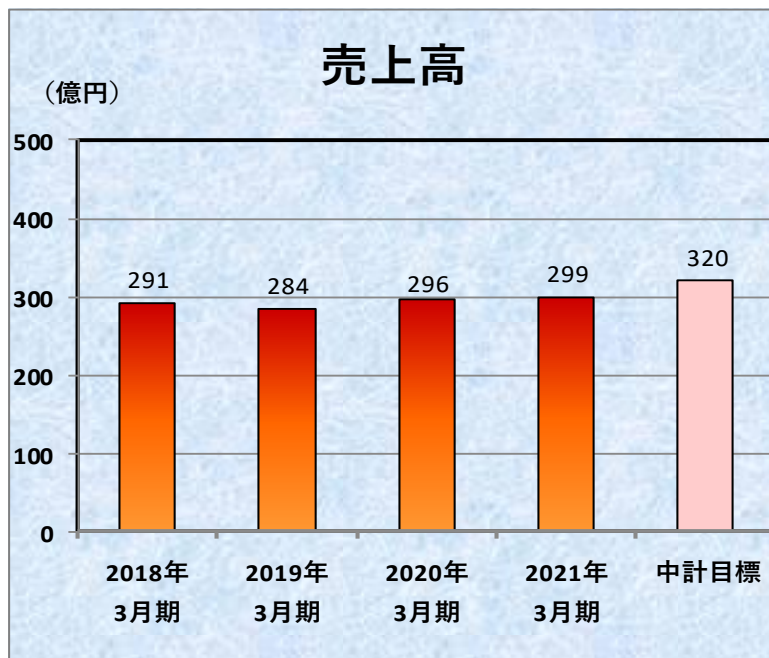
## ➤ 常温食品事業<連結>…缶詰・珍味製品他の加工及び販売



### 【当期の状況】

- 減収増益
  - 缶詰は、緊急事態宣言の影響による備蓄品需要の増加
  - 珍味製品は、家飲み需要の増加や新製品の投入などにより順調に推移

## ➤ 鯉・鮪事業<連結>…海外まき網・養殖・鯉鮪加工販売事業

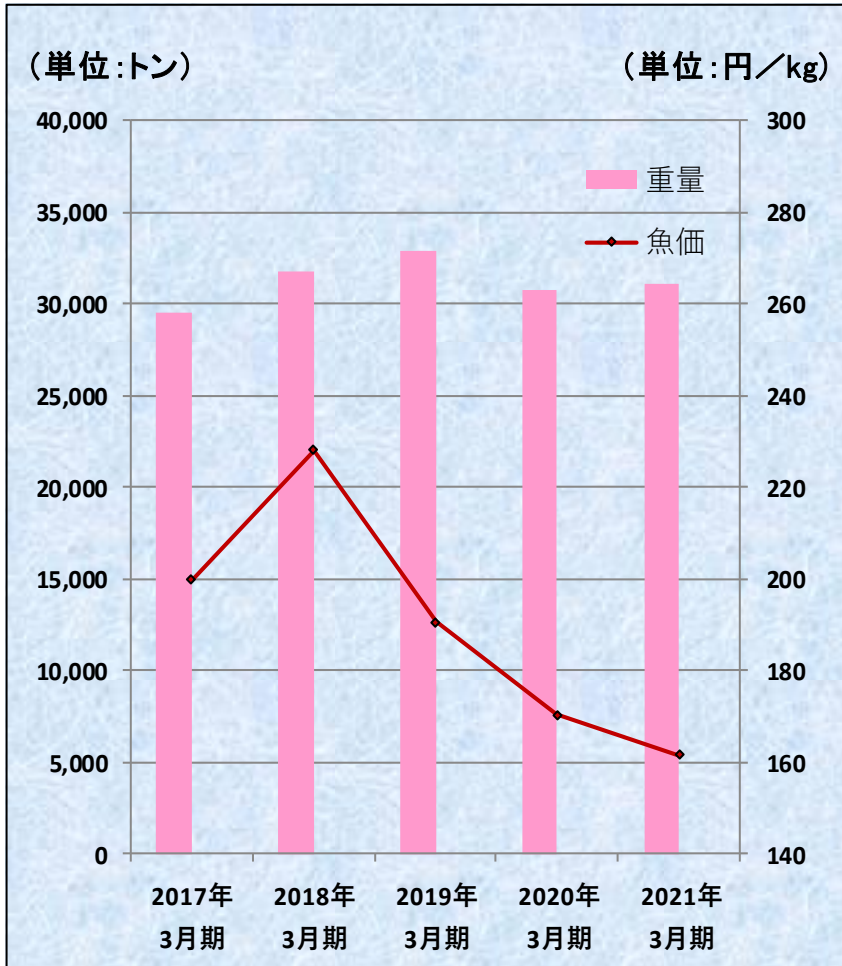


### 【当期の状況】

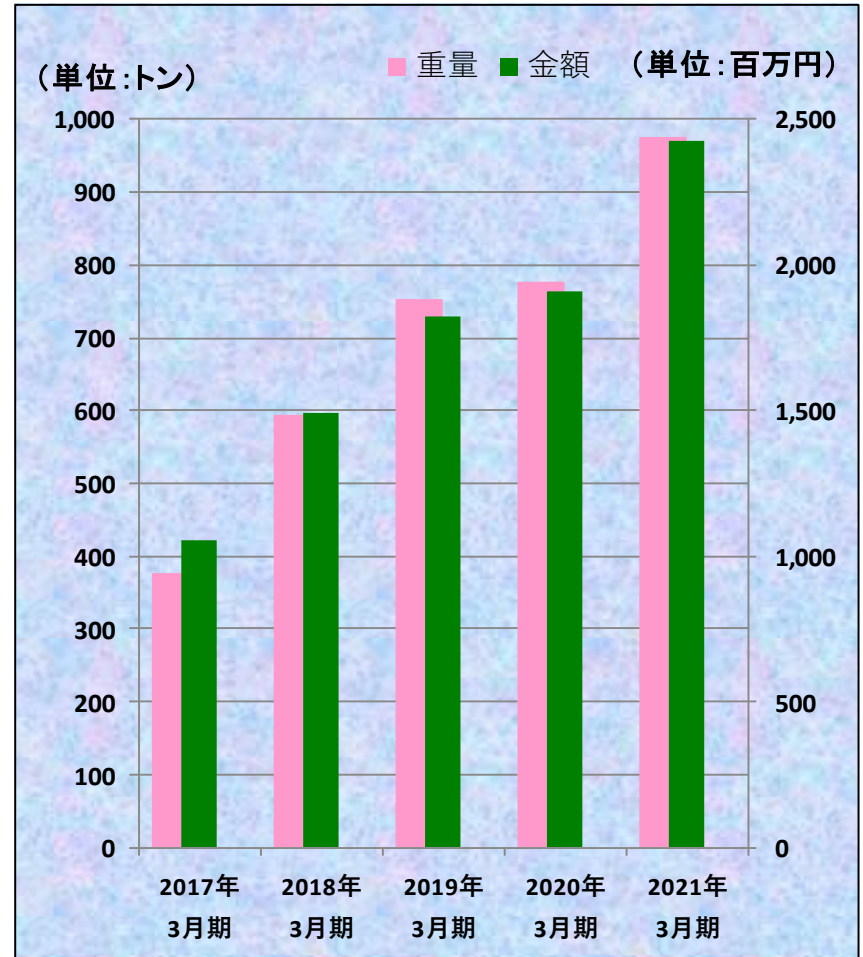
- 増収増益 《海外まき網事業》 ➤ カツオ魚価の低迷
- 増収増益 《養殖事業》 ➤ 国産養殖クロマグロの販売が伸長
- 増収増益 《加工販売事業》 ➤ 量販店を中心にマグロタタキなどの販売が順調に推移

## 鯉・鮪事業

〈海外まき網事業〉…水揚げ推移

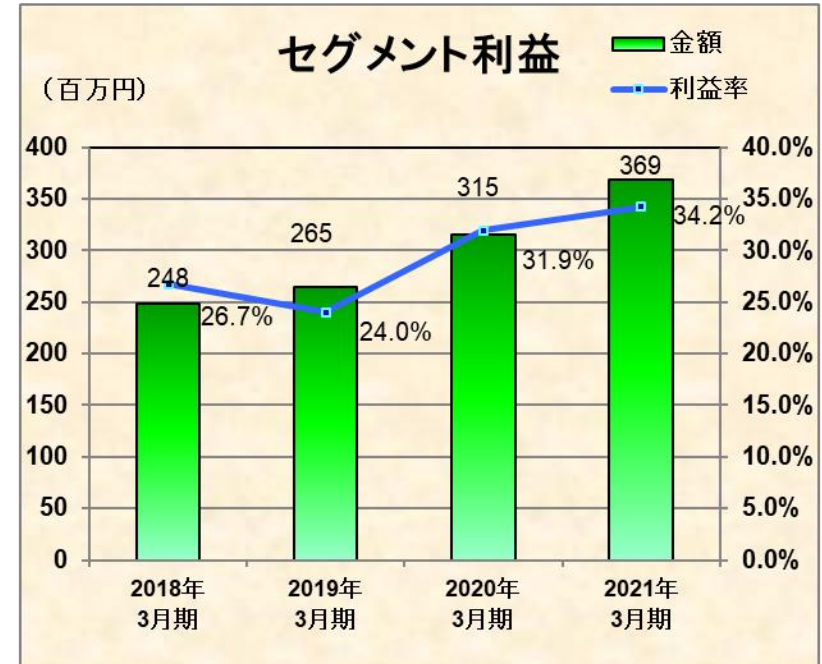
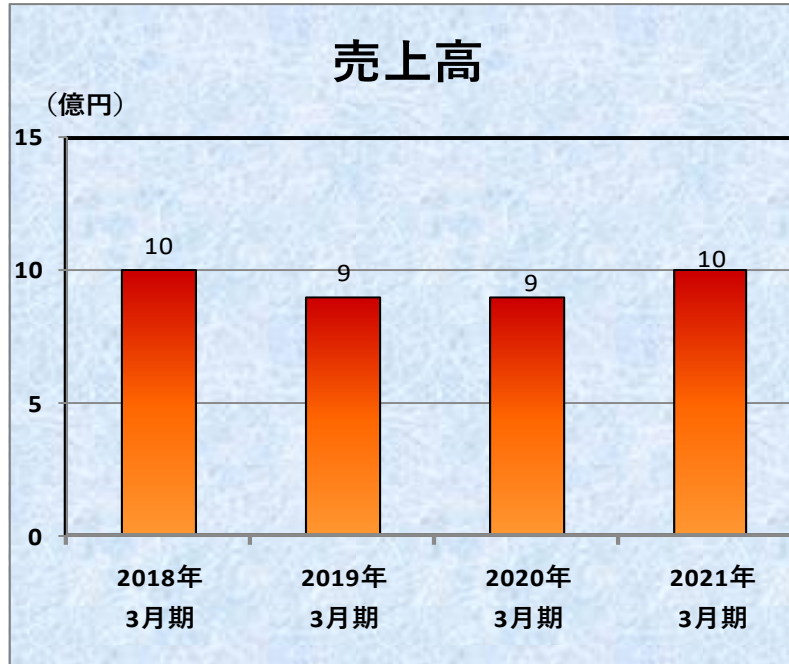


〈クロマグロ養殖事業〉…売上推移





## ➤ 物流サービス事業<連結>…冷蔵倉庫事業



### 【当期の状況】

- 増収増益
  - 新型コロナウイルスの影響で当初荷動き鈍化
  - 回転のよい貨物の集荷に注力し、入出庫量増加
  - 貨物委託先の運送会社網拡大により、配送事業を強化

# 新中期経営計画 『Build Up Platform 2024』の概要

## ➤ 基本方針

経営基盤の強化を図りながら、  
「事業課題への継続的取組み」と  
「持続的成長への挑戦」を柱とする戦略を進め、  
社会と極洋それぞれが共有すべき価値を  
創造していくことで、新たな成長への礎となる  
「高収益構造への転換」を目指す

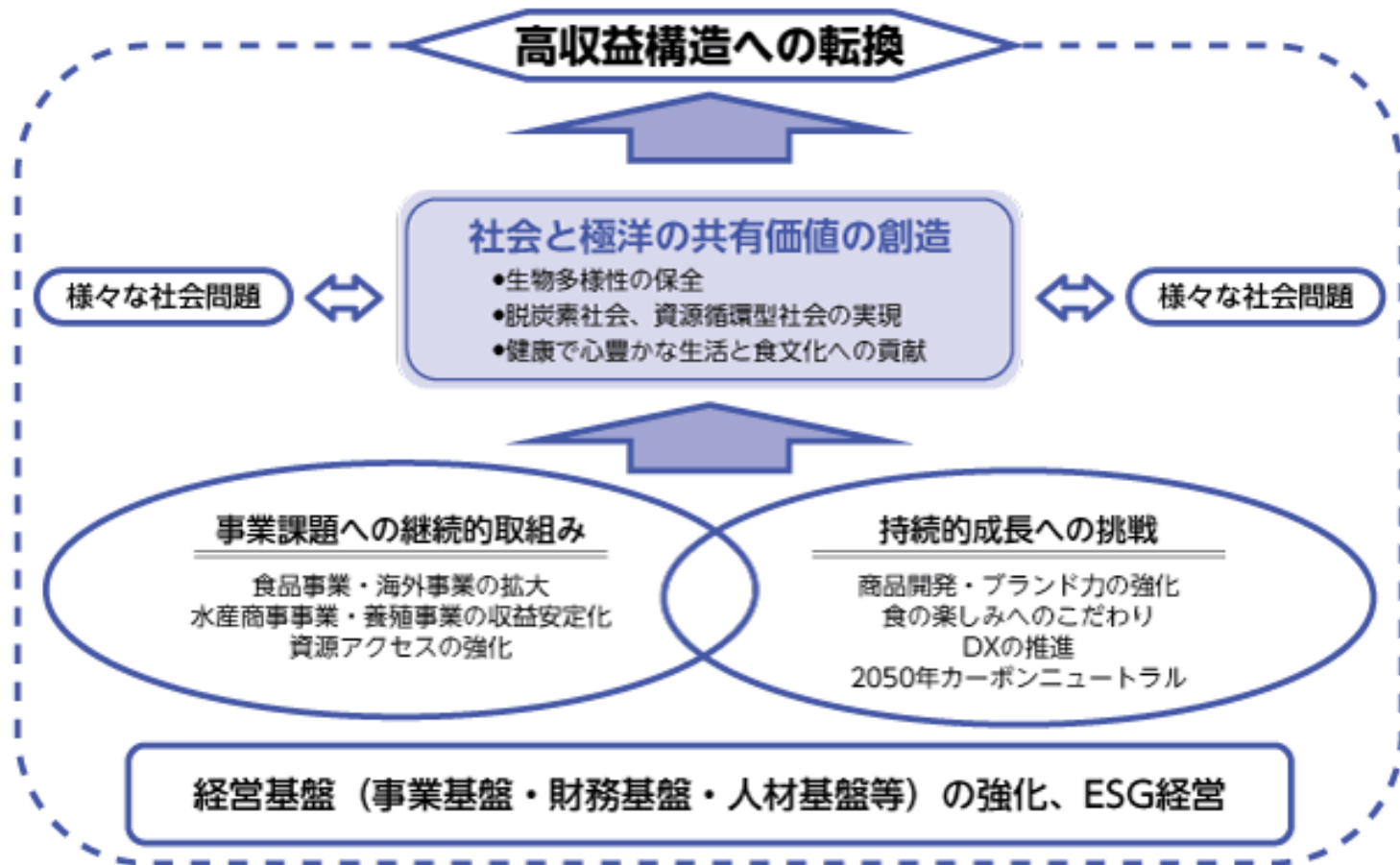
食品事業及び海外事業の**拡大**、水産商事事業及び養殖事業の**収益の安定化**を図り、常に変化するマーケットニーズや社会からの要請に対して、柔軟に対応することで、ESG、SDGsといった持続可能な社会の実現に向けた責任を果たし、当社が持つ価値を積極的に提供することで、高収益構造への転換を図ってまいります。

## ➤ 新中期経営計画の最終年度(2024年3月期)目標値

売上高	3,000億円
営業利益	70億円
経常利益	65億円
営業利益率・経常利益率	2.0%超
海外売上高	300億円
有利子負債資本倍率(D/Eレシオ)	1.5倍

(単位:億円)

	水産商事	食品 (冷凍食品+常温)	鰹・鮪	その他	合計
売上高	1,420	1,240	330	10	3,000
営業利益	36	30	14	△10	70



## 【事業課題への継続的な取り組み】

- 市販用商品の拡大及びチャネルの多様化による**食品事業の拡大**
- 海外マーケットでの販売体制の強化、及び各種認証取得や海外販売用製品の開発による**海外事業の拡大**
- 高付加価値商品、差別化商品の強化による**水産商事事業及び養殖事業の収益安定化**
- 調達力の多様化などによる**資源アクセスの強化**

## 【持続的成長への挑戦】

- 「時間価値の創造」にこだわった迅速な研究・**商品開発**、及び「キョクヨー」、「シーマルシェ」**ブランドの認知度向上**
- 「**生活を楽しむための食**」という価値の追求
- **デジタルトランスフォーメーション(DX)**の推進による新たなビジネスモデルの構築
- 2050年**カーボンニュートラル**に向けたカーボン・オフセットの推進

## 【経営基盤の強化・ESG経営】

- 保有する事業基盤の有効活用と積極的な新規投資による**事業基盤の強化**
- 安定的な利益の積み上げによる**財務基盤の強化**と資本構成の均衡
- ワークライフバランスに配慮した多様な働き方の尊重、及び人材育成の強化や人事制度改革による**人材基盤の強化**
- SDGsで掲げる目標に向けての取り組みを強化し、社会課題の解決に貢献する「**社会価値**」の追求
- 環境保全の各種取組みによる水産資源の**持続可能性**の向上
- 地域社会とのコミュニケーションを通じた**地域活性化**及び**社会的要請への対応**と働きやすい**労働環境の整備**
- 経営の効率性、透明性の確保と積極的な情報開示などによる**ガバナンスの向上**

# 2022年3月期 施策及び業績予想



## 【水産商事セグメント】

- 市況を踏まえ、販売に見合った買付と在庫管理の徹底
- 付加価値の高い自社製品の販売ルート構築による収益の安定確保
- 海外拠点における現地販売の強化
- 食品部門と連携した自社工場製品の市場開拓

## 【食品事業セグメント】

- 組織再編を行い、事業本部体制に移行したことによる販売力の強化
- アイテムの集約化による自社工場稼働の効率化
- 高付加価値商品の開発

## 【鯉・鮪セグメント】

- 自社工場との連携強化による高付加価値商品の販売
- 海外まき網事業の更なる効率化
- 養殖クロマグロの安定供給と養殖真鯛の拡販

## 【物流サービスセグメント】

- 極洋グループの在庫を核とした早期の集荷と適正な在庫管理

## ➤ 連結業績予想

(単位:百万円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	前期比	
			増減金額	増減比率
売上高	249,197	250,000	802	0.3%
営業利益 (営業利益率)	4,657 (1.9%)	5,000 (2.0%)	342	7.3%
経常利益 (経常利益率)	4,879 (2.0%)	5,000 (2.0%)	120	2.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,838	3,500	△338	△8.8%

## ➤ 事業セグメント別業績予想

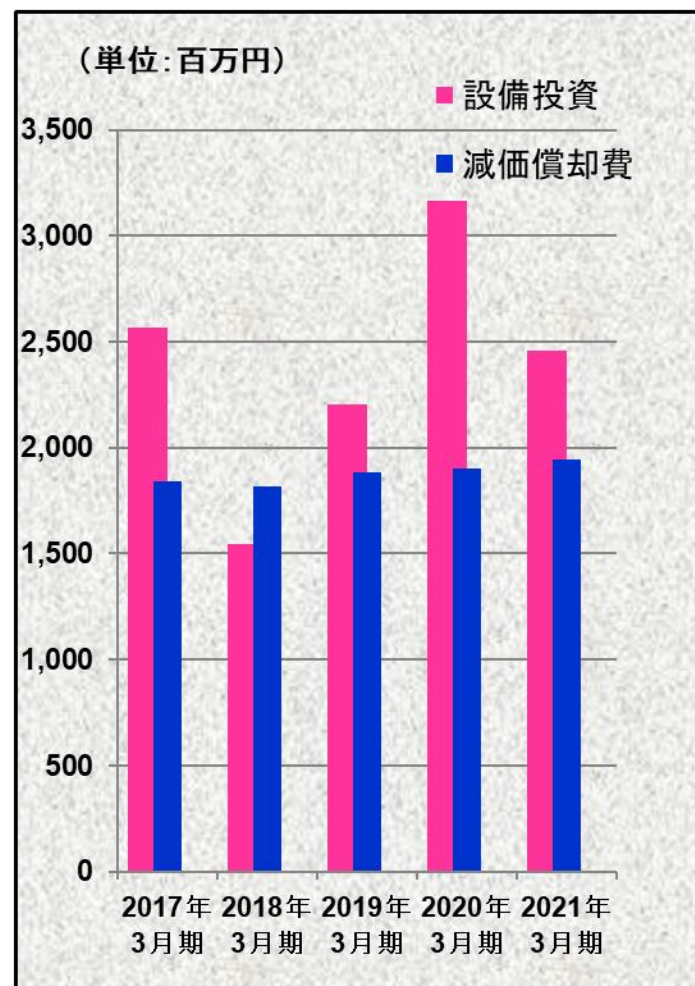
(単位:百万円)

	売上高			セグメント利益		
	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	前期比	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	前期比
水産商事	118,949	114,000	△4,949	3,067	3,000	△67
食品 (冷凍食品+常温)	98,806	105,000	6,194	1,684	2,000	316
物流サービス	1,079	1,000	△79	369	200	△169
鯉・鮪	29,918	30,000	82	506	1,000	494
その他	443	0	△443	△970	△1,200	△230
合計	249,197	250,000	803	4,657	5,000	343

## ➤ 2022年3月期 設備投資計画

	概要	2021年3月期 3月末実績	2022年3月期 計画
極 洋	塩釜工場関連	1億円	2億円
	生産工場関連	0億円	2億円
	研究所関連	0億円	1億円
	養殖事業海上	1億円	0億円
	IT関連その他	3億円	5億円
	計	5億円	10億円
関係 会社	生産工場関連	16億円	23億円
	まき網事業関連	1億円	1億円
	養殖事業海上	1億円	1億円
	IT関連その他	2億円	1億円
	計	20億円	27億円
合計		25億円	37億円

## ➤ 設備投資・減価償却費推移



本資料は、2021年3月末までの業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的として作成しており、必ずしも投資をお勧めするものではありません。

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

したがって、実際の業績は、様々な要因により、これらの予想と異なることがありますのでご承知おきください。

当資料に対する問い合わせ窓口

株式会社 極 洋 経営管理部 IR室 電話03-5545-0703

本資料は株式会社極洋が作成したものであり、内容に関する一切の権利は当社に帰属します。複写及び無断転載はご遠慮ください。